

一、労働組合 大正十三年五月二十四日

◎労働組合

一、海軍労働組合 員二百二十名

一、製糖労働組合 味瀨山労働組合 員二百五十名

一、製業労働組合 員三百五十名

◎労働者別組合

十八名

一、織工労働組合 員三百八十名 (男工二百八十二名、女工五十六名)

一、織工労働組合 員二百六十名

一、織工労働組合 員二百六十名 (男工二百四十名、女工二十名)

一、織工労働組合 員二百六十名 (男工二百四十名、女工二十名)

一、織工労働組合 員二百六十名 (男工二百四十名、女工二十名)

一、織工労働組合 員二百六十名 (男工二百四十名、女工二十名)

一、織工労働組合 員二百六十名 (男工二百四十名、女工二十名)

財団法人労働組合大阪支所

一、争議解決 大正十三年六月一日午後十一時

◎折衝者

一、會社側 國粹會紀州本部長杉山熊太郎、國粹會員湯川駒之助、

佐々木龜太郎、佐々木久吉、片岡喜代一、田中兵吉

一、職工側 山口常次郎、(大阪聯合會)辻本隈太郎、(和歌山合同

労働組合長)雪下健三、(和歌山労働組合長)

◎争議ニ至ル原因

同工場男工中約三十五名ハ和歌山労働組合ニ加盟セル者アリ  
テ本年三月始頃ヨリ組合ノ趣旨ヲ宣傳シ他職工ノ加入ノ勧誘ニ努  
メ居タルガ最近ニ至リソノ方法露骨ニ涉リ漸次加盟者モ其數男工  
約百十名女工約三百四五十名ヲ算シ組合ノ勢力扶植シツ、アルヲ  
會社側ニ於テ覺知シタル爲會社側ハソノ主謀者ト見做スベキ職工  
ヲ敲首シ禍根ヲ斷タンテト本月二十日先ヅ鐵工部田中和夫ヲ解雇  
シ次デ南久治、有田己之助、野田幸三郎、粗紡部力松磨男、綿

財団法人労働組合大阪支所